

デジタル副大臣 兼 内閣府副大臣  
衆議院議員

大串まさき

http://www.m-ogushi.com/ 国政報告

- ✔ デジタル副大臣を拝命
- ✔ デジタル改革で日本を元気に
- ✔ 物価高騰の追加策について

ガシロック VOL. 32



### 大串まさき プロフィール

デジタル副大臣 兼 内閣府副大臣  
元 経済産業大臣政務官

- ▶ 昭和41年生まれ。報徳学園高卒。東北大学大学院修了。博士（知識科学）。IHI、松下政経塾、大学准教授などを経て現職。現在4期目。
- ▶ 社会保障・教育・経済など多様な政策分野で活動中。
- ▶ 家族は妻と二人暮らし（猫一匹）。趣味は釣り・絵画・多肉植物。スポーツは高校まで剣道一筋。好きな食べ物、カレー。座右の銘は「威ありて猛からず」。

### お問い合わせ先

自民党への入党のご希望、国政報告会への参加希望など、お問い合わせは下記までお願い致します。

〒664 兵庫県伊丹市中央 1-2-6  
-0851 グランドハイツコーワ 2-12  
TEL:072-773-7601  
FAX:072-773-7602

✉ info@m-ogushi.com



## デジタル副大臣を拝命

この度、第二次岸田改造内閣にて**デジタル副大臣兼内閣府副大臣**を拝命しました。目下の不安定な国際政治や経済情勢下での難しい政権運営です。それぞれの持ち場で、質の高い仕事と結果が求められていることを肝に銘じて、河野太郎大臣の下で、全力で職務に邁進して参ります。

### ▶ デジタル副大臣

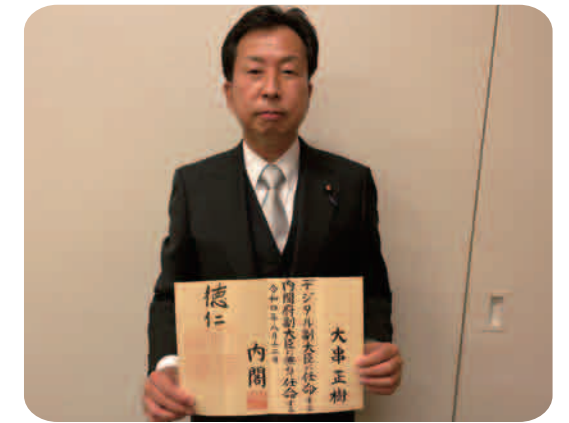
コロナ禍での大きな反省の一つとして我が国のデジタル化の遅れがありました。給付金の受け取り手続きに大行列ができ、情報のやりとりを依然としてFAXで行うなど、海外からも、その遅れを指摘されていました。当時の菅官房長官が、この状況を重く見て、一元的にデジタル化を推進する司令塔としての「デジタル庁」を設置しました。9月で設置から1年となりますが**誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化**を目指して、様々な課題に取り組んでいます（詳しくは裏面）。

端的には、世の中の手続きを合理化することを目指していますが、何よりも皆さまに「便利になった」という実感を持って頂くことが大切だと考えています。私も副大臣として、それぞれの仕事がスムーズに実行できるよう頑張ります。

### ▶ 内閣府副大臣（兼務）

今回は内閣府副大臣を兼務します。内閣府の業務は多岐に及ぶため、それぞれに担当（担務）を分けて対応します。私の担務としては、消費者庁、公正取引委員会、個人情報保護委員会などに関わる課題があります。特に、消費者庁は国民にとって最も身近な課題を扱います。さまざまな商品による事故防止や注意喚起、取引や契約時のトラブルへの対応、景品・食品などの表示、消費者教育などを業務としています。最近ではSDGs（持続可能な開発目標：Sustainable Development Goals）の意識の高まりから**食品ロス**の削減にも取り組んでいます。

※他にも、ワクチン、拉致問題、こども政策、行政改革、万博、国土強靱化、領土問題、経済安全保障、宇宙・海洋政策、全世代型社会保障改革、原子力、金融庁など多くの政策課題を8人の大臣が中心になって対応します。



### ○消費者ホットライン

「188」は、最寄りの消費生活センター等をご案内する全国共通の電話番号です（スマホでもOK）。消費生活の中でトラブルや困ったことについて相談したいときは、消費者ホットライン「188（いやや!）」をご利用ください。最寄りの窓口をご案内し、消費生活相談の最初の一步をお手伝いします。



## 大串まさき 国政報告

自由民主党 兵庫県第六選挙区支部ニュースレター  
ガシロック 第32号（令和4年10月1日号）

頒布責任者：浅井勝弘 伊丹市中央 1-2-6 グランドハイツコーワ 2-12  
印刷者：（有）弘栄堂印刷所 伊丹市中央 4-1-11

討議資料

## デジタル改革で日本を元気に

デジタル庁が取り組む課題についてご説明します。デジタル庁では大きな三つの価値を提供することを戦略の柱にしています。これらの業務を通じてミッションでも掲げている **誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化**を推進していきます。パソコンが苦手でも、スマホが怖くて触れない人も、皆が便利な社会を目指します。

### ①生活者、事業者、職員にやさしい公共サービスの提供

デジタル社会の利便性を追求する上で欠かせないのが公共サービスのデジタル化です。生活者にも、事業者にも、行政で働く職員にもやさしいサービスを目指しています。**マイナンバーカード**は国民の約半数の方に取得して頂きましたが、引き続き全ての国民の皆さまに取得をお願いしています。マイナンバーカードの利用機会も、カードに搭載された公的個人認証の仕組みを利用した民間サービスも、これからどんどん拡充していきます。事業者向けには、補助金申請システム（jGrants）や法人共通認証基盤（gBizID）などを整備して利便性が向上しています。自動車検査登録手数料などの国に支払う行政手数料等をクレジットカードや電子マネー、コンビニで支払い可能となる「キャッシュレス法」が成立しました。今後も、行政機関への手数料などを、キャッシュレスで支払えるように拡充します。



デジタル庁を代表して経済界にマイナンバーカードの利用促進を要望

### ②デジタル基盤の整備による成長戦略の推進

デジタル社会への移行は利便性の向上だけではありません。生産性の向上や、データの利活用により新たな産業を生み出すことが可能になります。特にデジタル規制改革は大きなインパクトを与えます。目視確認や常駐・専任規制など**約 4,000 条項の規制改革**を進めています。

また、これまで遅れていた行政におけるデータの生成・流通・活用のためのルール策定や、行政情報や地理空間情報など社会全体の基盤となるデータ整備を進めています。安全なルールの下で官民の効果的なデータ利活用を可能にします。このデータ利活用は医療や教育の分野にも及びます。これまで取り組んできたデータヘルスの実現にも注力していきます。

### ③安全安心で強靱なデジタル基盤の実現

デジタル社会において、利便性の高い各種サービスをスピーディに提供するためには、国や地方公共団体**共通のデジタル基盤**が必要です。デジタル庁では、国や各自自治体がそれぞれにサーバーなどのインフラを持つのではなく、インターネットを通じてサービスを必要な時に必要な分だけ利用するクラウド型の基盤である**ガバメントクラウド**を整備し、サービス利用環境を整えています。

## 物価高騰の追加策について

世界的な物価高騰の中で、国民生活や事業活動を守り抜くことは岸田政権の最優先課題です。足元の物価・景気の状態に対応するため、追加の対策を実施します。

### ①食料品

**輸入小麦**の政府売渡価格の据え置きに加え、**配合飼料**や**化学肥料**の価格高騰対策も実施します。あわせて、**食品ロス**の削減に向けた取組を抜本的に強化します。それでも発生する賞味期限内食品の寄付を促進し生活困窮者支援につなげます。

### ②エネルギー

ガソリン等の燃料油価格抑制のための措置は、引き続き本年末まで実施します。エネルギーの供給力については、この冬に最大 **9 基の原子力発電所**の稼働を確保し、さらに、設置許可済みの原発の再稼働に向け、国が前面に立って対応します。

### ③生活者・事業者支援

地方創生臨時交付金等に基づく地域の物価高騰対策に続き、**6,000 億円規模の電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金**を新たに創設し対応します。

### ④低所得世帯への支援

生活必需品の物価上昇によって低所得世帯で大きな影響が出ている状況に対応するため、**電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金**を新たに創設し、住民税非課税世帯に対して1世帯当たり**5万円**をプッシュ型で給付します。

### ⑤価格転嫁対策・賃上げ支援

物価高騰対策と同時に、**価格転嫁対策**の取組を更に進めます。また、過去最大となる最低賃金の引上げを踏まえ、事業場内で最も低い賃金を引き上げる事業者への支援や、最低賃金引上げの影響を強く受ける事業者への支援を強化します。

これらの支援を迅速にお届けするため、新型コロナ対策とあわせて、3兆円半ばのコロナ・物価予備費を措置しつつ、この秋に**総合経済対策**を策定します。



私も政府の一員として総理を支え、物価高騰対策に取り組んで参ります(防災の日、総理官邸での会議に出席)

## 編集後記

突然の人事ではありましたが、副大臣就任に伴い、議員としての活動は一変。政府に入ると党内の役職は自動的に解任され、委員会の所属も無くなります。これまでの質問する立場から、今度は答弁する立場になります。また政府の

立場として、緊急時に備えて週末も東京に残る「在京当番」が増えるので、地元に戻れる数少ない機会には、しっかり活動して参ります。なお、ここで書ききれないエピソードは、ミニ集会などでお話し致しますので、どうぞ、お気軽にご用命下さい。